

二の丸雑木林

この林は、東京西部の田舎地域、武蔵野の景色の縮図を再現しています。1983 年にこの林の植林が始まった時、

武蔵野は周辺地域へと徐々に吸収されていました。武蔵野林の美しさとは、人と自然とが協調して生まれたものです。

伝統的に、武蔵野の住民は地元林から落ちた枝葉を集めて肥料として利用し、20 年周期で薪を得るために伐採し

ていました。この林には、コナラやクヌギのような落葉樹、そして木々が落葉する前にその足元で花を咲かせるチゴユリの

ような春植物が育まれています。